

## 中国（上海）ビジネスサポート

## Monthly China News

\* 毎月 1 回、定期的に中国より配信致します。



2023 年。穏やかな新年を迎えられましたでしょうか。中国は旧暦 1 月 22 日が正月（春節）。3 年ぶりに、全く移動規制のない春節大型連休となり、各地で正月用品やお土産物を嬉しそうに買う市民の姿が見られました。天文専門家によると、2023 年の干支は「癸卯(みずのと・う)」で、閏 2 月が挿入され、旧暦では 1 年が 1 月 22 日から 2024 年 2 月 9 日までの 384 日となるそう。そして 1 年の間に「立春」が 2 度ある「双春年」。何とも縁起の良さそうな卯年。上海伝統のミルク飴のシンボルもウサギ。人々が帰省から戻り稼働し始めた上海より、今月のレポートをお届け致します。



## 【政治・経済】

- 中国入境防疫措置の隔離撤廃；  
2023 年 1 月 8 日より入国者に対する隔離規制が撤廃された。国家衛生委員会より新政策「乙類乙管」が発表され、コロナウイルスは伝染病対象にならず関連の疫病蔓延防止制度はほぼ撤廃される事になった。これまでの移動や建物入場の際に必要な各地でのコード管理や PCR 規制が全て撤廃され、同時に、コロナ感染者に対しても外出等は自己管理・自己責任とされ、基本的には自己判断で出勤が可能となる。完全な自己防止に方向転換、特別措置も無くなった。(国家卫生健康委員会・中国新聞網 1/7)
- 日韓へのビザ発給停止。日本へは再開へ；日韓へのビザ発給が 1 月 10 日より停止となった。中国側は入国者については陰性者（\*要出発前 48 時間以内証明）であれば入国が自由となっており、中国人に対しても 3 年間閉ざされていたパスポート発給が復活している。数年越しに期待されていたビジネスの往来や観光旅行への影響が懸念されていたが、春節後すぐに日本に対しては再度査証の発行再開が発表された。これで数年閉ざされていた日中間の往来によりやく兆しが見えてきた。(外交部・中華網 1/7、1/29)
- 2022 年の国内総生産（GDP）前年比 3.0%増；中国国家统计局は 2022 年の国内総生産は 121 兆 207 億元（1 元は約 19.1 円）で、不変価格に基づく計算では前年比で 3.0%増と発表。産業別では、第一次産業の生産額は前年比で 4.1%増の 8 兆 8345 億元、第二次産業の生産額は同 3.8%増の 48 兆 3164 億元、第三次産業の生産額は同 2.3%増の 63 兆 8698 億元。  
新型コロナウイルスを厳格に封じ込める「ゼロコロナ政策」を巡る混乱や不動産不況が響き、成長率は 21 年（8.4%）を大きく下回り、コロナ発生直後の 20 年（2.2%）以来の低水準。中国政府が掲げた「5.5%前後」の目標を達成できなかった。(人民網・中国国家统计局 1/17)

## 【製造業関連・関連の政策等】

- 国家統計局発表 12 月 PMI 値予想を下回る；12 月の製造業 PMI は 47.0(前月から▼1.0pt)、非製造業 PMI は 41.6(▼5.1pt)となり、いずれも 3 か月連続で 50 (好不況判断の境界数値) を下回った。(国家統計局 12/31)
- 12 月乗用車小売台数増；12 月乗用車小売台数は前年同月比 15%増、前月比 47%増の 242.5 万台。2022 年通年では前年比 1.8%増の 2,070 万台と発表。22 年の新エネ車の輸出台数は 100 万台で、20 年の 22.4 万台、21 年の 59 万台から飛躍的に伸びた。2023 年第 1 四半期の小売台数は、車両購入税の復活等により、前年同期比▲7%の 458 万台になると予測。(1/4 自動車工業協会・第一財經)
- 滴滴（ディーディー）出行登録再開；タクシー予約等のアプリで知られる滴滴出行は、国家ネットワ

ークセキュリティ規制の関係で新規登録ができなくなっていたが、同国家ネットワークセキュリティ審査室の同意を経て「滴滴出行」の新規ユーザーの登録を即日再開すると発表。会社側は、「今後はプラットフォーム設備とビッグデータの安全を保障し、国家ネットワークセキュリティを維持するために有効な措置をとる」と明言。中国では一層厳しくなるネットワーク規制、今後は企業側も規制に則った注意対策が必要になってくる。(1/16 環球時報)

・中小零細企業への奨励措置 15 項目発表；ここ数年打撃の特に大きい中小零細企業に対し、「中小零細企業の成長安定・構造調整・能力強化へのサポートに関する若干の措置」が国務院中小企業発展促進工作領導小組より発表、15 項目の具体措置が打ち出された。政府調達事業において、中小企業向けに留保する割合を段階的に 40%以上まで高める政策を 2023 年の年末まで延長。中小企業の参入余地を留保する。大手企業とプラットフォーム機構が中小零細企業向けに調達リストを発表、国境を越えたマッチング活動を展開し、中小零細企業に向けてより多くの市場開拓とビジネスチャンスを創出する。(1/15 国務院・新華社)

## 【トピックス】

### 1：春節の帰省ラッシュ 3 年ぶりに回復

移動規制が撤廃された今年の春節は、多くの人々が帰省すると見られる期間（1/7-2/15）の延べ旅客数が前年同期比 99.5%増の 20 億 9,500 万人に上り、コロナ前 2019 年の 70.3%まで回復するとの見通しを発表した（交通運輸部 1/6）。国家鉄路集団は春節休暇の 7 日間（1/21～27）での鉄道延べ旅客数は 2 億 2563 万 8 千人に達した。中国大手旅行サイト携程(Ctrip)が 5 日に発表したレポートによると、1 月 5 日までの春節期間の旅行商品の予約件数が前年同期比 45%増、海外旅行は、予約件数が前年同期比 540%増。各地の駅、観光地は 3 年ぶりに人出で賑わい混雑を見せた。(人民網 1/5・東方財富網 1/28)

### 2：中国 61 年ぶりに人口減少

2022 年末の中国の総人口（台湾や香港、マカオを除く）が前年末と比べ 85 万人減、14 億 1175 万人になったと発表。前年末と比べ減少するのは 1961 年以来 61 年ぶり。世界首位の人口大国の座から陥落し、インドが最多となった可能性がある。出生率も 49 年の建国以来最低。いよいよ急速な少子高齢化という難題に直面する。2022 年の国民経済調査によると、60 歳以上が 2 億 8004 万人、全国登録人口の 19.8%を占める。2021 年末では 2 億 6376 万人、全人口の 18.9%だったが今年は更に上昇。世界標準では 60 歳以上が全人口の 20%以上を占めると高齢化社会に入ると言われており、中国はあと 0.2 ポイントに迫る。(12/30 北京共同・人民日報、1/17 中国国家統計局)

### 3：「復興号」寒冷地仕様スマート高速列車、初めて中国最北端の寒冷地を走行

CR400BF-GZ 型「復興号」寒冷地仕様スマート高速列車。都市部では普通に見られる「復興号」の中で最も寒さに強く機能性に優れる最新車両。この車両が 16 日黒竜江省を初走行。速度 350km/h の「復興号」が走行する地域の中で、黒竜江省は緯度が最も高く、気温が最も低い地域。これは、中国が独自に研究開発した「復興号」の中でも最新版。新型列車は低温と氷雪に強く、中国の東北地域の氷点下 40℃の極寒環境でも正常に運行でき、初めて車両毎に自動凍結防止機能も搭載している。地域ごとに異なる気温環境条件下における高速鉄道運行が実現した。(人民網 1/17)

### 4：原油・天然ガス開発に伴う地熱発電プロジェクトが稼働

中国東方電気集団有限公司が独自に設計・製造した中国初の原油・天然ガス開発に伴う地熱発電プロジェクトが稼働開始した。地熱資源を持続的にグリーン電力に変換するプロジェクトで、中石油西南油ガス田分公司川中ガス鉦 X210 井で稼働開始している。同鉦井で生産されるガス田水は 1 日当たり

600 平方メートルで、底部の温度は 140℃、中国最強のガス田排水井となる。今回新たに建設された地熱発電機は同社がオーガニックランキンサイクル（ORC）技術に基づき設計・開発したもので、設備容量は 80kW、稼働後の発電量は通年で 40 万 kWh、二酸化炭素排出量を 340 トン以上削減する。（新華網・人民網 1/19）

## 5：中国 2022 年研究開発費（R&D）投資総額 3 兆元（1 元は約 19.0 円）を突破

22 年の中国の R&D 投資は 3 兆 870 億元で、初めて 3 兆元の大台を突破し、前年比 10.4% 増となり、第 13 次五カ年計画（2016-20 年）以来 7 年連続で 2 桁の成長をキープ。不変価格で計算すると R&D は前年比 8.0% 増となり、第 14 次五カ年計画（2021-25 年）における「社会全体での R&D 投資年平均成長率 7% 以上」との目標値を上回ったことになる。同年はコロナ規制等社会全体の事情から研究開発活動も一定の影響を受けたが、企業への R&D の加算控除政策や科学技術への奨励制度等も改善を続けたことで、イノベーションへの活力が効果的に向上、R&D 投資は新たなステージへと押し上げられた。（国家統計局・人民網 1/23）

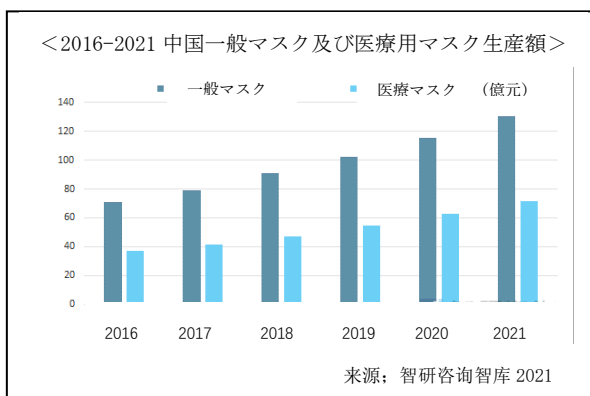
### 【ゼロコロナ規制から自主健康管理へ；急増するマスク需要】

世界中を巻き込んだコロナウイルス。いよいよ日本でも季節インフルエンザと同様の扱いになる日が近づいてきた。中国も昨年 12 月にゼロコロナ政策を最適化、日本同様に今は全ての規制が撤廃され、感染対策も自己防衛、社会活動への参加も自主判断となっている。ロックダウンが各地で行われていた時期は政府主導でマスク生産も行われていた背景もあったが、政策が一転。昨年末に多くの陽性者が出た中国では一時期マスクが売り切れ、特に感染予防効果の高いとされる N95 マスクは生産が追いつかない状態となった。

### ◎中国マスク生産量

マスクは、一般的な微生物の侵入や呼吸保護を目的とする保護用マスク、特殊粉塵等の侵入を防ぐ工業用マスク、外科手術時等に用いられる手術用マスクの他、放射性顆粒の侵入を防ぐ防毒性マスク、伝染病原菌や飛沫分泌物を防ぐ医療用マスク等があるが、今最も人気なのが N95 マスク（N 類マスク）。アメリカ国家職業安全衛生研究所が指定する 9 種の顆粒物質の侵入を防ぐとされており、陽性者が続々と

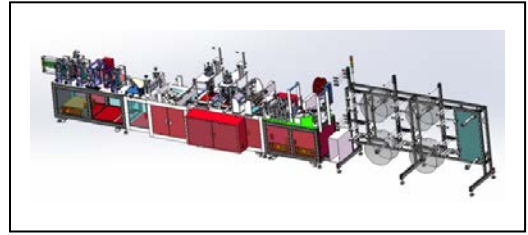
と出始めた 2022 年 12 月は、この N95 マスクが中国では入手困難だった。理由としては、ゼロコロナ政策時には、マスク着用は政府義務付けで、しかも外には基本的には陽性者がいない社会環境だった為、「マスクを着用している」というポーズさえ取っておけば良い、という認識の人々も多かった。その為、真剣に防護するマスクではなく、一般マスクで十分市場需要に応えられていた。そして供給側も、一般マスクの生産は、ロックダウン中や部分封鎖が継続する中でも政府支援があった為、絶え間なく生産されていた。



### ◎マスク生産ライン

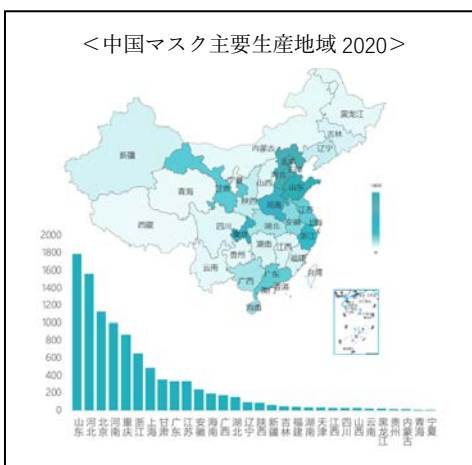
マスク製造工程は、一般保護マスクに比べて、材料そのものが 6~7 層程になる N95 マスクの方が若干複雑になる。鼻から口全体をピタッと覆う立体構造、そして素材も 0.3 ミクロンを遮る特殊素材を使用する為、扱いにも慎重さが必要。当然医療用マスクであれば、医療用許認可の取得も必要で、生産ラインは人の介入は極力避けた無菌全自動化ラインが一般的。大まかな工程は、マスク原材料の送り（多層）→鼻部分の止め挿入→超音波溶接→N95 刻印→耳掛けひも溶接→成型（畳み）→超音波切断、

出荷仕様調整の8工程。精密な機械部品などに比べると少ない工程ではあるが、柔らかい素材で人肌に触れ、更に防護用目的の医療用マスクなだけに、鼻止め位置、耳掛け紐位置等の精度要求は高くなる。許認可取得や材料確保、装置導入を考えると一般マスク製造よりは新規参入が難しいのも生産量が急に増やせない理由の一つ。また現実的な点でも、中国で一般マスクが入手しやすいネット価格で見ると100枚で約60元。同様ネットサイトで比較するとN95マスクは100枚で約360元。1枚あたりは3.6元なので、安いのではとも思うが、毎日しかも家族全員となると相当な金額になる。生産側からすると単価が低いマスク生産、コストメリットを考えても簡単ではない。



参考；正太控股智慧解决方案

### ◎マスク生産主要地域



中国ではマスクメーカー及び関連サプライヤーを合わせると約21,000の企業が実在している。企業集積地域は山東省、河北省（北京を包括）、河南省、重慶省、浙江省が首位5地域。この5地域で全国マスク生産量の60%強を占める（新京報社2020）。うちN95マスク製造に対応できる企業は368社（\*新浪財經2022）。河南省18%、江西省16%、江蘇省13%、湖北省12%、広東省7%、山東省7%。2022年末に感染が爆発した中国では、企業側はこの春節期間中も24時間体制での生産体制で生産に挑み、2023年1月29日時点で800万枚/日以上を生産を実現した。次いで他地域の生産も追いつき始め、今では中国全土で2,000万枚/日のマスク生産規模となっている。ロックダウンが長引いた上海でも17社のマスク生産企業があるが、

400万枚/日の生産量を現在は保っており、物流の速度も安定した今、マスク不足現象は収まりつつある。（\*工信部2023年1月）

### 【イベントセミナー】

1：FBC 深圳 3月29日～4月1日 会場：深圳国際会展中心（※）

※（公財）大阪産業局上海代表処は FBC ものづくり商談会の共催団体になっています。弊所を通じて申込みいただきますと、特別出展割引が適用されます。

1月22日旧正月当日。上海は雨模様の寒い寒い、一日でした。地方出身者の多い上海は人気も少なく、都市部では爆竹も禁止されている今、大晦日夜は全く音も無く静まり返っていました。7連休の3日目以降は天気も回復、家族とゆっくり過ごした後は、街にも以前のように人が出始め、活気を取り戻していました。卯年の新年。今年こそ、多くの皆様に中国でお会いできますように願っています。（\*写真；上海田子坊。）



大阪産業局上海代表処 中国（上海）ビジネスサポート  
ファクトリーネットワークチャイナ（工場網信息科技（上海）有限公司）

上海市長寧区延安西路2201号 上海国際貿易中心2階268室